

## 令和5年度補助金評価表（令和4年度交付分）

事務事業名	市女性防火クラブ連絡協議会補助金		
担当所属	予防課	連絡先	092-332-8026

## 【事務事業基本情報】

区分	②奨励・支援的事業補助		
該当例規等	なし		
基本目標	基本目標3_みんなの命と暮らしを守るまちづくり		
政策	政策2_消防・救急の充実		
施策	施策①_消防力の強化		
補助期間	令和5年度	まで	

## 【事業概要・指標】

事業概要	成果指標								
<p>【目的】</p> <p>住宅用火災警報器の普及啓発等の事業は「我が家と地域から火を出さない。家族を守り、人の命を守る、助ける」という女性防火クラブの設立目標に則しており、同啓発活動に補助金を交付することで、市民の火災予防、防災意識を高めることができるため、地域防災力の強化に繋がる。</p> <p>【対象事業】</p> <p>市民まつりや各行政区で行われる運動会等での住宅用火災警報器の普及活動。心肺蘇生法の研修会</p> <p>【対象者】</p> <p>市女性防火クラブ連絡協議会</p>	<table border="1"> <tr> <td>①</td> <td>住宅用火災警報器設置率</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④</td> <td></td> </tr> </table>	①	住宅用火災警報器設置率	②		③		④	
①	住宅用火災警報器設置率								
②									
③									
④									

## 【改革案】※全体見直し時記載事項

今後の実施方向性	現状維持
住宅用火災警報器が設置されていたことによる火災早期覚知の奏功事例もあり、設置普及を継続することで火災予防、被害軽減の効果が見込まれるため。また、一般的に設置から10年経過したものは交換を推奨されており、本市の条例で設置義務となつてから10年以上経過していることから、今後は交換の啓発にも力を入れていく必要があるため。	

## 【指標の推移】

	単位	令和4年度実績	目標値
成果指標	①	%	83
	②		80
	③		
	④		

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和4年度決算	令和5年度予算
トータルコスト	円	100,000	100,000

## 【環境変化等】

開始時の周辺環境・課題
現状の周辺環境・課題
今後の予想される周辺環境・課題
市民及び議会等の意向・ニーズの変化等